



はらじゅくかわら版

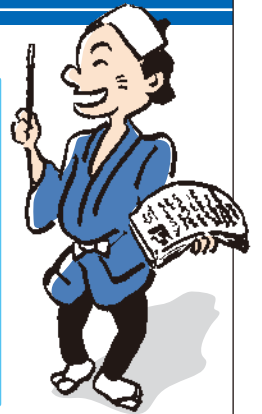
独立行政法人 国立病院機構

横浜医療センターの理念

私たちは人権を尊重し、思いやりの心をもって安全で納得していただける**患者中心の医療**を目指します。

私たちは、急性期の地域医療を基盤として質の高い総合的な専門医療を提供するとともに、関係医療機関と密接な連携をもつ**地域完結型医療**を目指します。

私たちは、健全な病院経営を心がけ、患者の皆様がより良い医療を受けられ、**地域で選ばれる病院**になるべく日々努力していきます。



記事「高校生一日看護体験」は3ページに掲載（一日体験の高校生に血糖測定体験中。）

第50号 目次

特集 -医師が語る疾患-

第9回 肺がん 呼吸器内科医長 後藤 秀人・・・1

行事紹介

当院職員が磯子消防署より表彰！・・・・・・2

市民医療講座について・・・・・・2

高校生一日看護体験～看護師になる夢への後押し～・・・3

連載 職員リレー紹介・・・・・・4

第9回 放射線治療 放射線科医長 杉山 正人

お知らせコーナー

ノロウイルス感染予防のお話・・・・・・5

病診連携施設紹介・・・・・・6

担当医表／編集後記・・・・・・7



発行 月：平成27年10月

発行 行：独立行政法人国立病院機構

横浜医療センター 広報委員会

発行責任者：工藤 一大

住 所：横浜市戸塚区原宿3-60-2

電 話：045-851-2621

FAX : 045-851-3902

URL : <http://www.yokohama-mc.jp>



●当院携帯サイトはこちらから

特集 — 医師が語る疾患 —

第9回 肺がん

呼吸器内科医長 後藤 秀人



現在、日本人におけるがんは、一生のうちに約2人に1人が診断される病気です。その中で肺がんは、がん全体のうちでの割合（罹患数）が男性で2位、女性で4位であり、死亡数では男性で1位、女性で2位です（2014年度統計予測）。肺がんは、高頻度に見られる依然として予後の厳しい疾患と言えます。

肺がん対策として大事なことは、3つあります。①禁煙、他人の煙を避けるといった予防、②定期的な肺がん検診、そして③咳、血痰などの自覚症状が見られた時の早めの医療機関受診による早期発見です。日本での喫煙率は成人の19.3%と依然として高く、肺がん検診率も30～40%台と低いため、この点を改善させることが必要不可欠です。

肺がんと診断された場合には、専門の医療機関で治療を受けることが大切です。当院はがん診療連携指定病院として、地域のがん診療の中核病院としての役割を担っています。肺がんの直接的な治療にあたる、呼吸器内科、外科、放射線科医師に加え、身体的、精神的苦痛、社会的問題等にも対応する緩和ケアチームによる介入を診断早期より行い、多職種のスタッフで患者さん及び患者さんの家族を支える診療を行っています。

肺がんの治療は、着実に進歩しています。手術は、以前からある開胸手術から負担の少ない胸腔鏡手術が中心となり、放射線治療は、より病変の部位に絞って放射線を照射できるようになっています。

抗がん剤治療は、個別化治療が進んでおり、腺がん、小細胞がんといった肺がんの種類に加え、がんの遺伝子を調べ、上皮成長因子受容体（EGFR）遺伝子変異などの特定の遺伝

子の有無を確認し、抗がん剤を決めています。また、吐き気などの副作用に対する治療薬も増え、治療中の症状は軽減されています。さらに外科治療、放射線治療、抗がん剤治療につづく第4のがん治療として免疫療法の研究が進み、新たな治療手段として注目されています。今後、肺がんは生存率、予後のさらなる改善が期待できます。

繰り返しになりますが、まずは、禁煙、定期的ながん検診、そして咳、血痰など異常に気付いたら早めの医療機関への受診をお願いします。



行事紹介

当院職員が磯子消防署より表彰！

庶務係長 三森 泉



平成27年6月8日(月)に横浜市消防局磯子消防署より、当院救急科医師である祐森章幸さんが「マンション火災における的確な初期消火活動により、被害の拡大を防止してくださいました。」として、感謝状が贈られました。

祐森さんは、平成27年4月21日(火)午後6時頃、当直勤務後にご自宅で休憩をされていたところ、近隣で出火があったことを知り現場に急行、状況から初期消火活動が必要と判断したため、手近にあった消火器を使用して消火活動を行い、被害の拡大を防ぎました。

感謝状を手にした祐森さんは、「火事という声を聞いて、慌てて現場に急行しました。状況を確認したところ、幸いなことに消火器を使用しての初期消火でなんとかなるレベルだと思ったので、消火器で対応しました。消火器の取扱は初めてだったのですが、とにかく消火しなければ・と思い、無我夢中でした。火を前にして慌てずに行動できるようになるために、日頃の訓練が大切だと改めて感じました。」と話されました。

青木消防署長からは、「昼間は医師として尊い人命を救い、また、仕事明けでも人命救助にご協力頂き、本当にありがたい事です。的確な初期消火活動を行って頂いたため、消防隊が到着しても、ほとんどすべきことがない位でした。火災が起きないのが一番ですが、起きてしまった場合には、今後ともご協力頂きたい。」とのお言葉がありました。



市民医療講座について

地域中核連携室長 末永 邦仁

当院は、「神奈川県がん診療連携指定病院」に指定されており、質の高いがん医療の提供に加え、がんに関する知識の普及啓発に努めているところです。

そうした中、7月15日(水)、横浜市老人クラブ連合会主催の「横浜シニア大学」に協力し、戸塚区の男女共同参画センター横浜において、がんに関する医療講座を開催しました。テーマは「肺がん診療の現状について」で、当院呼吸器内科の後藤医長が講師を務め、当日は、52人の方にご参加をいただきました。



参加者の方からは多数のご質問をいただくなど、とても熱心に受講いただきましたが、「大変参考になりました」「とてもわかりやすかった」とご好評をいただきましたので、その一部をご紹介します。

- ・ がんを防ぐためには、生活習慣が非常に重要です。特に、喫煙はやめましょう。
- ・ 肺がんは、5年生存率が低いがんですが、種類や進行に応じた治療方法のあるがんです(手術、抗がん剤、放射線治療、これらの治療の組み合わせなど)
- ・ 進行期の肺がんは、抗がん剤による化学療法で治療しますが、患者さんの免疫力を守りながら、抗がん剤を投与します。

(肺がんについて詳しくは、本号の「特集-医師が語る疾患-第9回 肺がん」で、本講座講師の後藤医長の寄稿が掲載されていますので、ぜひご覧下さい。)

さて、当院では、今後、次のとおり、がんに関する市民公開医療講座を開催します。

お申し込みいただければ、どなたでもご参加いただけますので、ぜひ、ご参加下さい。

開催日時	テーマ	講師	会場	お申し込み方法
12月7日(月) 15:00~16:30	最近の婦人科 がんの診療	当院 産婦人科 鈴木 理絵 医長	戸塚区総合庁舎3階 多目的スペース(大)	11月16日(月)から、電話で横浜医療センターにお申し込み下さい。(先着180人) 電話045-853-8357

行事紹介

高校生一日看護体験～看護師になる夢への後押し～

副看護部長 鈴木 美和

横浜医療センターでは、「高校生が看護師と一日行動を共にし、患者さんと直接ふれあい看護を体験することによって、看護に関心と理解を深める機会」を目的に高校生看護体験を実施しました。今年も附属看護学校の入学説明会や募集要項に広報のビラを配布したため、20名を超える希望となり、7月28日はあいにくの悪天候ではありましたが、元気に集合し始めました。

〈一日のスケジュール〉

時 間	内 容
9:00～10:00	受付・更衣
10:00～10:15	オリエンテーション
10:15～10:30	病院・看護部の紹介
10:30～11:00	看護学校紹介
11:00～11:30	病院見学、インフォメーション
11:30～12:00	健康チェック 自己測定
12:00～13:00	昼食
13:00～15:00	看護体験
15:00～16:00	意見交換・アンケート記入



皆さん緊張した表情で着席していましたが、白衣に着替え髪を整え記念撮影をした頃から皆さんの表情が和らぎ学生さん同士の会話も聞こえてきました。次はお互いに血圧・体温・酸素飽和度・体重測定を測って見た。特に血圧測定では聴診器から「音が聞こえない」「あー聞こえた」と賑やかにやっていました。

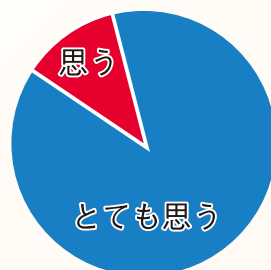
昼食を食べた後は、いよいよ病棟に行って看護体験。患者さんと話をしたり、車いすを押したり、自分の血糖値を測ったり病棟毎に様々な経験をしてもらいました。新人看護師と話をする時間も作ってくれている病棟もありました。二時間という短い時間でしたが、看護体験が終わる頃にはまるで看護学生の実習のような充実感で生き生きした表情でした。終了後は病棟担当の看護師と共に意見交換会。「勉強して絶対に看護師になります」「コミュニケーションが重要です」「看護師さんたちがステキに見えました」等と意見が聞かれました。終了後は高校生同士の写真撮影や自撮り、メール交換など別れを惜しんでいるようでした。短い時間でしたが、看護師の仕事の様子を見て体験することで看護師への夢に一步近づいてくれたのではないかとほほえましく思いました。アンケートからも大変好評だったので来年も今年同様夏休み時期に企画したいと思います。

〈アンケート結果〉

Q.企画はどうでしたか？

企 画	とても良かった	良かった
病院看護部紹介	20	3
看護学校紹介	18	5
病院見学	21	2
健康チェック	16	7
看護体験	23	0
意見交換	18	5

Q.参加して看護師になりたいと思いませんか？



第9回 放射線治療

放射線科医長 杉山 正人



放射線治療は悪性腫瘍、いわゆる‘がん’が主な治療対象で、根治治療から症状改善目的の治療まで様々な状況で行われています。治療の特徴は形態機能の温存と患者さんへの体の負担が少ない事で、乳癌では乳腺部分切除術と全乳房への放射線治療を併用する事により乳房温存（乳房の形がほぼ保たれる）が得られるため、放射線治療が多用されています。頭頸部癌でも喉頭温存（のどをとらない）が重視され、食道癌、直腸肛門癌、膀胱癌等でも治る事に加えて臓器の温存が大切となっています。もう一つの特徴である患者さんへの体の負担が少ない事を利用して90歳以上の高齢者等に対しても施行可能です。又、外来通院治療が可能で、高齢者はこれまでの自宅での日常生活を維持しながら、若い方は仕事や子育てを行いながら、入院ではなく通院での放射線治療を70%以上の患者さんが行っています。又、前立腺癌、子宮頸癌等では外科切除と全く同等の治療結果が得られ、患者さんのライフプラン等により使い分けられています。特に前立腺癌の患者さんが急増しています。治療中や治療後における生活の質(QOL)の高い根治治療として放射線治療が施行されている一方、従来根治困難であった局所が進行し切除不能である肺癌、食道癌や膵臓癌等に対しても抗がん剤の併用により治療効果の著しい改善が得られています。又、がんにより生じた疼痛、麻痺、出血、呼吸困難、嚥下困難や黄疸等の症状改善目的にも多く行われ、放射線治療の大切な柱(治療患者さんの約1/3)です。

2007年施行のがん対策基本法で放射線治療の推進が謳われ、その件数は近年増加しており、日本全国では年間25万人以上、当院でも200人以上に対して実施されていますが、国内におけるがん治療での放射線治療の実施割合（約29%）は諸外国（50%以上）に比し少なく、今後更なる増加が予想されています。

最後に、近年の放射線治療の進歩や機器の高性能化は著しく、当院の



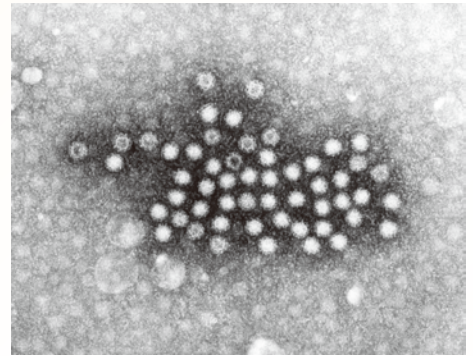
放射線治療でも最新の照射装置（バリアン社製リニアック）を使用し、担当放射線治療専門医（常勤1名、非常勤1名）は、放射線治療担当技師2名(1名は放射線治療品質管理士)、放射線治療専従看護師1名と力を合わせ、CTやMRIを基とした高い精度で丁寧な放射線治療を心がけています。

お知らせコーナー

ノロウイルス感染予防のお話

感染管理認定看護師 深瀬 史江

日増しに秋の深まりを感じますが、いかがお過ごしでしょうか。今回は、ノロウイルス感染予防のお話です。ノロウイルスとは、激しいおう吐や下痢を引き起こすウイルスで、冬場の食中毒の代表的な疾患です。健常な成人が感染しても死に至るようなことはありませんが、乳幼児や高齢者は、おう吐や下痢による脱水や、吐いたものが気管に入ることでのどに詰まるなど、窒息や肺炎を引き起こし、危険な状態に陥ることもあります。ワクチンや治療薬はなく、水分を補給するなどの対症療法が中心となります。感染から発病までの潜伏期間は平均1～2日で、症状は数日間で回復します。また、ノロウイルスは感染力が非常に強いのが特徴で、牡蠣などの2枚貝が原因となることがあります。ノロウイルスは85℃以上1分間以上の加熱によって感染性を失うため、食品は中心部まで充分加熱し、生の牡蠣を扱った包丁やまな板、食器などをそのまま生食するものに用いないよう、調理器具をよく洗浄し、十分すすいでから次亜塩素酸ナトリウムによる消毒をすることも大切です(アルコール消毒は効果が不十分です)。おう吐物や便を処理する時には、使い捨てマスクやビニール手袋が有効です。カーペット等洗浄できない物が吐物で汚染された場合はアイロンでの熱消毒も有効とされています(耐熱温度に注意してください)。



ノロウイルス電子顕微鏡写真
(東京都健康安全研究センターホームページより)
<http://idsc.tokyo-eiken.go.jp/emi/noro/>

また、感染しても症状が出ない人や、感染から回復した後は、長いと1か月近く便の中にウイルスが排出されています。トイレの後や調理の前は、流水と石けんによる手洗いを十分に行ってください。

ノロウイルスの特徴は変異しやすいことです。国立感染症研究所によると、今年新たなウイルスが国内で感染していたことが分かりました。秋以降、新たなウイルスが主流となった場合には、例年になく大きな流行になるおそれがあります。皆様十分お気をつけてお過ごしください。



独立行政法人国立病院機構 横浜医療センター附属横浜看護学校 ～学校説明会 お申し込み受付中!!～

●受付：9時～9時30分 ●説明会：9時30分～12時30分

★お電話、Mailで、

事前にお申し込み下さい



第6回 **終了** 9月19日(土)【公開講座】

第7回 10月31日(土)【楓葉祭】

第8回 平成27年3月5日(土)【公開講座】

【住所】〒245-0063 横浜市戸塚区原宿3-60-2

【問合せ】TEL：045 (853) 8322

【HP】<http://www.yokohama-ns.com/>



病診連携施設紹介

東戸塚メディカルクリニック

診療科目：内科、消化器内視鏡内科、腫瘍疼痛緩和内科、肛門科、胃腸科、消化器科、皮膚科、小児科

はらじゅくかわら版をご覧の皆様、こんにちは。
東戸塚メディカルクリニック院長の北川 光一です。

本年5月に東戸塚駅前に開院させていただいた開院後間もないクリニックですが、既に多くの皆様にご来院・ご利用いただいております。地域に暮らす皆様の健康をサポートするパートナーとして信頼されるクリニックを目指して頑張っております。

当院の特徴は、日本消化器内視鏡学会専門医による苦痛の少ない細径経鼻内視鏡や吸収の早い二酸化炭素を用いた大腸内視鏡検査を行い、消化器疾患の早期発見・治療や健診後の精査などを行っております。ご希望に応じて鎮静剤・鎮痛剤を併用し、可能な限り楽に検査を受けて頂けるよう準備しておりますので、是非ご利用ください。

また、切らずに治す痔の治療（ALTAジオン療法）をはじめ、ウイルス性肝炎検査・治療・肝臓・胆嚢・膵臓疾患など、消化器病専門医・消化器外科専門医による検査・診察・治療を行っております。皮膚科領域では、熱傷、じんましん、アトピー性皮膚炎、湿疹、褥瘡、脂肪腫、粉瘤といった皮膚疾患に対応しております。

身体は全てつながっているという考えの下、近年増えつつある高血圧や糖尿病、脂質異常症など生活習慣病に関する症状の早期発見や治療、かぜや腹痛、喘息といった内科一般疾患や一次救急疾患にも対応・診療しております。必要に応じて連携病院のご紹介もさせていただきます。

往診・在宅訪問診療にも力を入れており、慢性疾患からがんの終末期医療まで対応しております。横浜医療センターをはじめ、地域基幹病院との連携を大切にしつつ、地域の皆様にとって敷居の低い医院をめざしております。土曜・日曜も診療致しておりますので、どうぞお気軽にご来院ください。



右端が 北川院長



東戸塚メディカルクリニック

〒244-0801 横浜市戸塚区品濃町539-1 スカイビルディング6F
TEL : 045-435-9604 FAX : 045-443-8014
ホームページ : <http://www.medicli.com/>

診療時間

	月	火	水	木	金	土	日
8:00～13:00	○	○		○	○	○	
16:00～20:00	○	○		○	○		
18:00～20:00			○				
15:00～17:00						○	
11:00～14:00							○

	診療科・曜日	月	火	水	木	金	備考	
外来受付 A	小児科	鈴木 陽一 伊藤 育登 大嶋 明	福山 綾子 石津 博子 五十嵐 聖紗	小林 慈典 大杉 康司 二村 真尋	鈴木 陽一 矢竹 曜子 今野 裕章	塩谷 裕美 伊藤 育登 宮沢 啓貴		
	心臓血管外科 形成外科	益子原 幸宏	休診日(手術日) 村上 一晃	休診日(手術日)	村上 一晃	村上 一晃		
	整形外科	瀧上 秀威 小林 明裕 仲 拓磨	日塔 寛昇 伊藤 りえ 日野 勝利	瀧上 秀威 伊藤 りえ 仲 拓磨	上條 晃 小林 明裕 藤田 真太郎	上條 晃 小林 明裕 藤田 真太郎	★日塔 寛昇	★:予約患者のみ
		交代医師	交代医師	交代医師	交代医師	交代医師	交代医師	
外来受付 B	総合内科外来	交代医師	交代医師	交代医師	交代医師	交代医師	★:午後の予約のみ	
	糖尿病内分泌内科	重松 絵理奈 小松 裕美子	重松 絵理奈	宇治原 誠 藤井 聖絵	宇治原 誠	小松 裕美子	初診には紹介状が必要	
	神経内科	浅野 徹也	小林 絵礼奈 藤井 美紗子	上木 英人	遠藤 雅直 田中 啓	高橋 竜哉		
	腎臓内科	松下 啓	中野 雅友樹	廣田 憲悟	松下 啓			
	呼吸器内科	後藤 秀人 藤原 基史	休診日(検査日) 後藤 秀人	小嶋 亮太 田中 森子	休診日(検査日) 後藤 秀人	藤原 基史 小嶋 亮太		
	消化器内科	久礼 里江(初診) 交代医師	日向 有紀子(初診) 鈴木 大輔	小松 達司(初診) 松島 昭三	松島 昭三(初診) 野堂 はるか	交代医師(初診) 小松 達司		
	循環器内科	森 文章 網代 洋一	岩出 和徳 網代 洋一(午前) 藤原 貴士	溝淵 景子	初診:岩出 和徳 初診:森 文章	岩出 和徳 森 文章	※火曜日は予約患者のみ(新患受付無し)	
	リウマチ科	出口 治子	初診:岩出 和徳 出口 治子	初診:岩出 和徳 出口 治子	初診:岩出 和徳 出口 治子	初診:森 文章 出口 治子		
	外科・消化器外科	清水 哲也 渡部 順 朴 俊	関戸 仁 松田 悟郎 山本 悠史 ※太田 郁子	松田 悟郎 高橋 直行 山本 悠史	関戸 仁 松田 悟郎 坂本 里紗 清水 哲也 中嶋 佑介	休診日 (手術日)	※乳腺外科の初診には紹介状が必要 地域連携室を通して完全予約制	
		呼吸器外科	五来 厚生 高橋 航	交代医師①	交代医師②	五来 厚生		新患の受付は火曜日午前、木曜日午前に限らせて頂きます。
	脳神経外科	休診日 (手術日)	手術日	◇脳ドック	休診日 (手術日)	藤津 和彦 市川 輝夫	①:第1・3・5週 岡田 富、第2・4週 宮原 宏輔 ②:第1・3・5週 瓜生 康浩、第2・4週 谷野 慎 ◇:脳ドックの詳細はPM2:00～5:00の間に「医事 脳ドック受付」までお問い合わせください。	
	緩和ケア内科(ペイン・緩和)	小川 賢一	小川 賢一	小川 賢一	小川 賢一	小川 賢一	初診には紹介状が必要	
外来受付 C	耳鼻咽喉科	佐々木 祐幸	佐々木 祐幸	佐々木 祐幸	佐々木 祐幸	○佐々木 祐幸 手術日	○:予約外の診察には紹介状が必要	
	眼科	木村 正彦 内匠 秀尚	森 桂子 内匠 秀尚	木村 正彦 森 桂子	木村 正彦 森 桂子	休診日 (手術日)	初診には紹介状が必要 火曜日は新患のみ診察	
	泌尿器科	奥野 紀彦 大山 哲平	奥野 紀彦 若田部 陽司	休診日 (手術日)	奥野 紀彦 若田部 陽司	高田 治子 大山 哲平		
	皮膚科	白井 京美 上田 喬士	白井 京美 上田 喬士	▲白井 京美 手術日	白井 京美 上田 喬士	上田 喬士	・初診は紹介状が必要。 ・水曜日午後は手術の為、入院患者の依頼はお断りしています。 ・▲水曜日は予約患者のみ診察。	
外来受付 D	心療内科	心理検査	心理検査	心理検査	心理検査	心理検査	※月～金:初診の方は9時30分までに受付を済ませてください。(要紹介状、1日1名の予約制) 初診は主治の再診担当医以外の医師が診察します。詳細は精神科外来にお尋ねください。	
	婦人科	若林 玲南	奥田 美加	窪田 興志	高山 智子 (奥杉 輝彦)	鈴木 理絵	初診には紹介状が必要	
	産科	妊婦健診 (交代医師)	妊婦健診 (交代医師)	妊婦健診 (交代医師)	妊婦健診 (交代医師)	妊婦健診 (交代医師)	地域連携室を通して完全予約制	
	歯科口腔外科	根岸 明秀 (再診のみ)	根岸 明秀 柴崎 麻衣子 (午前初診・午後再診)	入院手術日 ※急患はご連絡ください。	根岸 明秀 柴崎 麻衣子 (午前初診・午後再診)	根岸 明秀 柴崎 麻衣子 (再診のみ)	初診:火・木曜日 8:30～11:00、要紹介状/診療情報提供書 初診:土曜日 9:00～11:00、要紹介状/診療情報提供書 再診:完全予約制 再診:急患:あらかじめ電話連絡して下さい。	
専門外来 (予約制)	小児科	アレルギー検査③	腎臓外来④	アレルギー (塩谷 裕美)	フォローアップ外来 (福山 綾子)	アレルギー (宮沢 啓貴)	③:第2・3・4週 ④:第1・3週(火)長濱 晶子	
		シナス(8～4月) (矢竹 曜子)	フォローアップ外来 (矢竹 曜子)	1か月健診 (交代医師)	1か月健診 (交代医師)	1か月健診 (交代医師)	⑤:第2・4週(火)渡辺 好宏	
		感染免疫・アレルギー (小林 慈典)	アレルギー (鈴木 陽一)	予防接種(交代制) 13:30-14:30	1か月健診 (矢竹 曜子)	循環器外来 (鈴木 陽一)	⑥:第2・4週(月)内分泌 大杉 康司 ⑦:第2週のみ	
		内分泌⑧ (大杉 康司)	アレルギー (石津 博子)	腎臓外来⑨ スポーツ整形外科⑩	手外科⑩	スポーツ整形外科⑩	⑧:毎週14:00～15:00(地域連携室を通しての完全予約制) ⑨:毎週15:00～16:00、⑩:毎週14:30～15:30	
	整形外科	骨格外来⑨	手外科⑩	手外科⑩	スポーツ整形外科⑩	⑧:毎週14:00～15:00(地域連携室を通しての完全予約制) ⑨:毎週15:00～16:00、⑩:毎週14:30～15:30		
	神経内科	頭痛外来 摂食・嘔下外来 物忘れ外来					地域連携室を通して完全予約制 ⑧:第2・4週(頭痛外来)、第1・3・5週(摂食・嘔下外来)	
	糖尿病内分泌内科	糖尿病連携バス外来		腹膜透析外来	腹膜透析外来			
	腎臓内科	腹膜透析外来		腹膜透析外来	腹膜透析外来			
	感染症内科			感染症外来	感染症外来			
	看護部			糖尿病看護ケア外来 糖尿病フットケア外来	糖尿病看護ケア外来 糖尿病フットケア外来			
	外科		スキンケア外来 ※乳がん検診	スキンケア外来	スキンケア外来		※乳がん検診、乳腺外科は完全予約制	
	心臓血管外科	血管外来				大動脈瘤・ステントグラフト外来		
	耳鼻咽喉科					補聴器外来(午後) 睡眠時無呼吸 症候群外来 (網代 洋一)		
	循環器科			ペースメーカー外来 (網代 洋一)				
	精神科	物忘れ外来 助産師外来 母乳外来(午後) ▽母親教室	助産師外来 助産師外来 母乳外来(午後)	助産師外来 助産師外来 母乳外来(午後)	助産師外来 助産師外来 母乳外来(午後)	物忘れ外来 助産師外来 母乳外来(午後)	初診には紹介状が必要。地域連携室を通して完全予約制	
	産婦人科			▽母親教室			▽:午後のみ。去立金教室は第2、4週土曜日、第3週日曜日。	
呼吸器内科					アスベスト外来 (橋原 基史)	地域連携室を通して完全予約制(第1金曜日のみ)		
放射線科	杉山 正人	杉山 正人	杉山 正人	杉山 正人 榎多 政治	杉山 正人	9:00～11:00 地域連携室を通して完全予約制		
病理診断科	※	※	※	※	※	※担当医:新野 史 完全予約制(1～2名)、診療日は流動的		

初診 受付: 平日 8:30～10:00
再診 (予約外) 受付: 平日 8:30～10:00
休診 日: 土曜・日曜日・祝日・12月29日～1月3日
地域医療連携室(脳ドック受付)(TEL 045-853-2331)

※急患は随時受け付けます。来院前に病院にご連絡下さい。(TEL 045-851-2621)
※紹介状又は、診療情報提供書をお持ちの方は、外来受付窓口にご提示下さい。
※地域医療連携室 TEL 045-853-8355 (月～金 8:30～17:00)
TEL 045-851-2621 (時間外、土・日・祝日)
FAX 045-853-8356

お知らせ 色つき部分が変わ箇所となります。ご確認の上受診ください。

◆編集後記◆

暑かった?夏も終わり、過ごしやすい秋になりました。昼と夜の寒暖の差により、病院周辺の木々も色づき始め、日々秋が深まっています。体調管理には十分に注意しましょう。

9月の関東・東北豪雨災害により被害を受けられました皆様に心よりお見舞い申し上げます。被災地の1日も早い復興を切に祈念いたします。(S・H)